

# ポンペイ *Pompei*

## まちあるきの考古学

ヴェスビオス山を崇め ヴェスビオス山に滅ぼされた街



ポンペイ市民広場

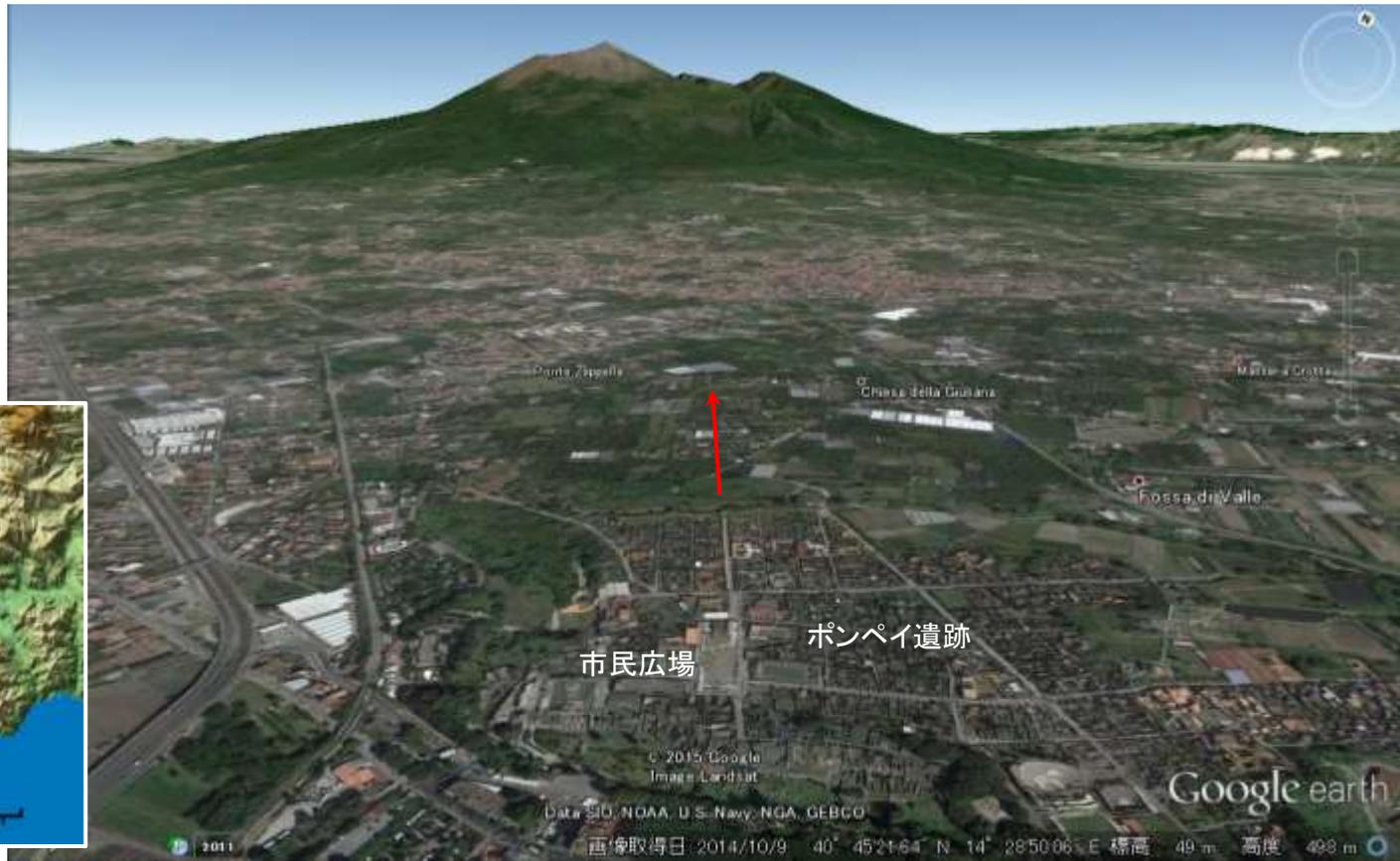
ヴェスビオス山は、ナポリ湾のどこからでも望め、広い山裾をもつ象徴的な火山です。

市民広場の正面に位置し、ポンペイの人々にとって、山は都市の象徴であると同時に、神の山として、畏怖する存在であったのではないのでしょうか。

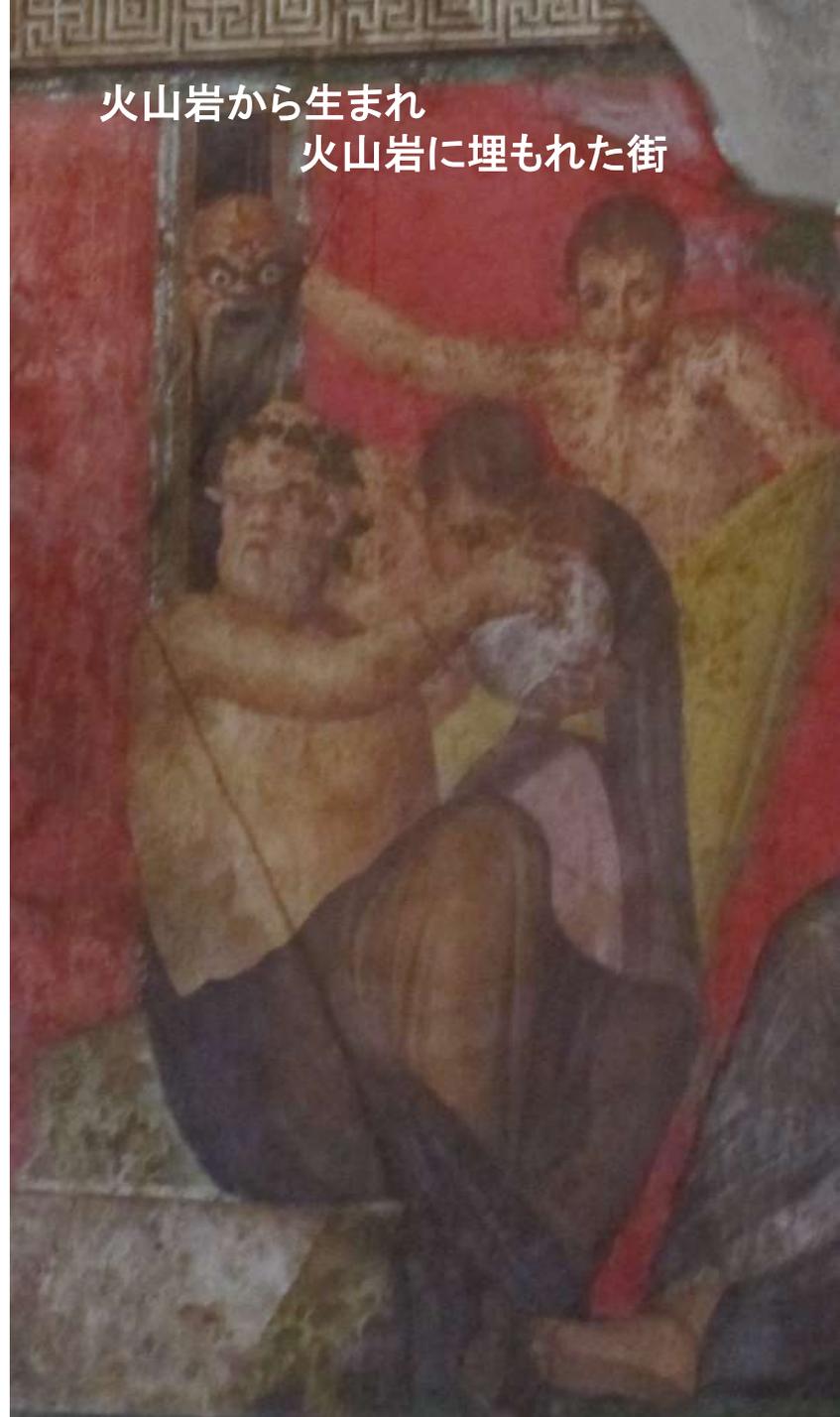
2000年前の噴火は、繁栄を誇ったポンペイの街を一瞬にして消滅させました。

人々は、降り注ぐ火焰の下、繁栄の驕りが、神の逆鱗に触れたと、恐れ戦いたのかも知れません。

ポンペイの街の軸線は、ヴェスビオス山を起点としています。  
古代ローマ時代、広大な平野に新都市を建設する際、プランナーはまずヴェスビオス山への軸線を引いたのかも知れません。



ポンペイは、消滅から1500年の時を経て、掘り起こされました。  
建物も石畳も競技場も、ヴェスビオス山の生み出した火山岩を石材として建築  
されていました。  
火山岩に埋もれた街 ポンペイは、火山岩によってできた街だったようです。



火山岩から生まれ  
火山岩に埋もれた街